

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	5	学校名	静岡聴覚特別支援学校	校長名	松本 仁美
------	---	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像「学びをつなげる学校」

全教職員が聴覚障害児の育ちを理解し、連携協働して、子どもが社会の一員として自立した社会生活を送るための資質を身に付け、連続性のある学びを進める学校。

(1) 教育目標

自己の障害への理解を促し、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の調和的発達を図るとともに豊かな言語力を育て、社会の一員として主体的に生きる人を育てる。

<教育の柱>

○豊かな言語力 ○確かな学力 ○健やかな体 ○思いやりの心

(2) 目標具現化の柱

*各学校の現状に応じた「業務改善」に関する項目を掲げる。

- ① **【安全安心】** 子どもが健康で安全安心な生活を送ることができる学校
 - ア 学校安全、危機管理の体制と様々な災害に備える教育（防災、感染防止）
 - イ 他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができる子どもの育成
 - ウ 健康な生活を教員も実践
- ② **【つなげる学校】** 縦にも横にもつながる効果的な学びを進める学校
 - エ カリキュラムマネジメントによるつながりのある教育課程の編成
 - オ 子どもが主体的に学び合い「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり
 - カ ICTを活用した効果的な学び（幼稚部、小学部、中学部）の充実と共有
- ③ **【連携協働】** 連携協働した教育活動の充実
 - キ 専門性を生かした乳幼児教育相談の充実
 - ク 在籍校から頼られる通級指導教室の充実
 - ケ コロナ禍における学校理解のための情報発信

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）*「業務改善」についても記入する。

【安全安心】 子どもが健康で安全安心な生活を送ることができる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	学校安全、危機管理の体制と様々な災害に備える教育（防災、感染防止）	<ul style="list-style-type: none"> ○感染状況に応じた感染予防対策、感染時対応等の周知徹底を図る ○喫緊の火災に即した防災・防犯体制の見直し ○聴覚障害者の視点から見た東日本大震災の学習実施 ○ふじのくにジュニア防災士取得（小5から中学生） ○学校安全計画の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の新しい生活様式に基づき、感染拡大防止対策を徹底することができた教員 AB100% ○感染しないよう行動することができた幼児児童生徒 AB100% ○学校は対策を十分講じていると回答する保護者 AB90%以上 ○防災訓練の回数を増やしたことで防災意識が高まった教員 AB90%以上 ○発達段階・聴覚障害に応じた実践的な防災教育ができた教員 AB100% ○本校学校安全計画に基づ 	学部 生徒指導課 体育保健課

様式第1号

			き、計画的に安全教育を行うことができた教員 AB90%以上 ○保健だよりや掲示内容を基に学級での保健指導の充実。保健指導が充実した教員 AB100%	
イ	他者を尊重し、思いやりの気持ちを大切にすることができる子どもの育成	○思いやりの心につながる行動の習慣化を促す ○「人権の花」運動 ○多様な価値観を尊重する道徳教育の推進 ○ゼロの日トークの充実 ○スクールカウンセラーなどによる子どもに思いやりの心を育てる講演会実施	○子どもに思いやりの心を育てる教育ができたと回答する教員 AB90%以上 ○自分や友達の良さに気づくことができた児童生徒 AB100% ○人間関係でトラブルが無いと回答する保護者 AB80%	学部 生徒指導課
ウ	健康な生活を教員も実践	○タイムマネジメントを意識した業務改善の維持 ○縦、横に風通しの良い人間関係の構築 ○時間内の業務を推奨、定時退庁しやすい風土づくり ○職場の健康保持推進の働きかけ ○感染予防のセルフチェックを活用した啓発	○時間外業務が月 45 時間以内の教職員 AB100% ○所属学部は業務改善の意識をもって会議や行事を精選したと回答する教員 AB90%以上 ○自分は業務改善したと自己評価する教職員 AB90%以上 ○相談しやすい職場と回答する教職員 AB100% ○セルフチェックをしたことにより意識が向上した教員 AB90%以上	学部 教務課 職員安全衛 生委員会 体育保健課 生徒指導課

【つなげる学校】縦にも横にもつながる効果的な学びを進める学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	カリキュラムマネジメントによるつながりのある教育課程の編成	○新学習指導要領に基づき、学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメント ○教育活動の再構築と定期的な見直し（PDCA） ○つながりのある特色ある教育課程の編成 ○教育課程に基づいた計画的・効果的な予算運用	○教科横断的な視点で定期的に年計を見直すことができた教員 AB90%以上 ○計画的・効果的な予算運用	学部 教務課 事務部
オ	子どもが主体的に学び合い「授業が楽しい」「授業がわかる」といえる授業づくり	○聴覚障害の特性を踏まえた「わかる授業」の実践 ○教科指導の充実 ○一人一授業の計画的な実施 ○学部研修の充実 ○聴覚障害に関する研修会の実施（手話学習会 8 回、	○授業が楽しいと回答する児童生徒 AB100% ○授業がわかると回答する児童生徒 AB100% ○学校の授業はわかりやすいと回答する保護者 AB100% ○全体研修で校外助言者か	研修課 自立活動課

様式第1号

		「スキルちゃん」ミニ講座 10回)	らの指導助言を受け、授業改善ができた教員 AB90%以上 ○学部研修により授業改善ができたと回答する教員 AB100% ○研修課、自立活動課の働きかけで障害特性を踏まえた「わかる授業」づくりを心掛けた教員 AB90%以上 ○「スキルちゃん」を授業づくりに活用することができた教員 AB100% ○「スキルちゃん」を意識して子どもたちに接することができた教員 AB100% ○手話学習会等により手話の技能が向上した教員 AB80%以上	
カ	ICT を活用した効果的な学び（幼稚部、小学部、中学部）の充実と共有	○ICT を活用した効果的な学びの蓄積を教員間で共有 ○ICT を活用できる学習環境の整備 ○GIGA スクール構想に基づき、積極的な活用を促す	○ICT 活用能力が向上したと回答する教員 AB90%以上 ○子ども自身が PC やタブレット端末に触れる機会を設定した教員 AB90%以上 ○PCやタブレット端末等の機器を使うのが楽しいと回答する児童生徒 AB80%以上 ○PCやタブレット端末等の機器を使う授業はわかりやすいと回答する児童生徒 AB90%以上 ○補聴援助システムを使用して授業を行った教員 AB100% ○音声認識システムを活用した小中学部教員 AB80%以上	教務課 自立活動課 ICT 推進委員会 地域支援部

【連携協働】連携協働した教育活動の充実

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
キ	専門性を生かした乳幼児教育相談の充実	○保護者と教員の信頼関係に基づく、親子関係づくり仲間づくりを大切にした早期支援・乳幼児教室の充実	○教育相談マネージャーとの連携を図り、教育相談事業が充実したと回答する教員 AB100% ○情報交換会で得た知識を校内掲示板で提供し、乳幼児教育相談を知ることができたと回答する教員 AB90%以上 ○乳幼児の発達に関する保護者学習会を年間4回以上実施し、適切な情報提供をする。事後アンケートで有	地域支援部

様式第1号

			意義だったと回答する保護者 AB90%以上	
ク	在籍校から頼られる通級指導教室の充実	○在籍校への積極的な支援と通級生を支える自立活動の充実	○在籍校訪問実施率 90% ○在籍校に対するアンケート実施。満足したと回答する学校 100%	地域支援部
ケ	コロナ禍における学校理解のための情報発信	○コロナ社会における学校理解のための教育実践の発信	○学部ごと月1回ホームページを更新し、学習活動を発信する ○学部ごと年間2回以上、学校間交流校や交流籍校に向けて本校の紹介や学習の様子を発信する	学部 教務課